



# 平成29年度 横須賀市国民保護協議会

平成30年(2018年)3月8日



# 横須賀市国民保護協議会

## 次 第

### 1 開 会

### 2 市長あいさつ

### 3 報告事項

- (1) 平成29年度横須賀市国民保護訓練について
- (2) 北朝鮮によるミサイル発射事案に伴う本市の対応について
- (3) Jアラート発動を想定した国民保護サイレン一斉再生訓練について
- (4) 平成30年度における組織改正について

### 4 閉 会

# 平成29年度 横須賀市国民保護訓練 実施報告

# これまでの訓練実施内容

開催年度	訓練内容
20年	不審物の爆発による負傷者救助、警察による不審物の撤去等の実動訓練。 併せて、警報伝達・避難誘導対策を図上訓練として検討。
21年	現地調整所の運用 および 爆発物の発見現場周辺の住民を関係機関の車両・船舶を使用して避難施設へ誘導する実動訓練。
22年	放射性物質を使用したテロ(Rテロ)を想定した避難対策検討の図上訓練。
23年	核爆弾によるテロ(Nテロ)を想定し、市内の全居住者・滞在者を市外へ避難誘導する図上訓練。
24年	南関東エリア一帯の大規模停電を想定した図上訓練。 本市及び逗子市がプレーヤーとなり、大規模停電時の自治体の対応を関係機関に知ってもらう。
25年	国民保護事案に達しないが、市民生活に影響を及ぼす事案が発生し、各機関による事案対処の検討と実動訓練。
26年	市内2カ所(追浜・中央)で爆発物事案が発生し、事態認定から一連の対応の検証を行う図上訓練。
27年	武力攻撃事態4類型の一つである着上陸侵攻を想定とした図上訓練。 着上陸侵攻による三浦半島からの全市民避難について、それぞれの機関が避難のための統合調整を行い、避難方法を検討。
28年	他国からのミサイルが県内中央部の他市に着弾したとの想定。 県内へのミサイル着弾という状況下における本市の対応と神奈川県との対応を、訓練時間をずらして実施することで、互いに武力攻撃事態下での県市間の必要な連携や対応について確認する図上訓練を実施。

# 弾道ミサイル攻撃事態

弾道ミサイル攻撃事態を訓練想定とした理由

- ① 平成29年度に入り、北朝鮮による度重なるミサイル発射実験が行われている  
→うち2回は日本上空を通過
- ② 平成25年3月に北朝鮮労働党機関紙、労働新聞が「横須賀市が射撃圏にある」との威嚇する記事を掲載して以来の危機感の高まり

# 訓練参加機関

## プレイヤー

神奈川県安全防災局安全防災部危機管理対策課

横須賀市市民安全部危機管理課

横須賀市消防局

陸上自衛隊第31普通科連隊

海上自衛隊横須賀地方総監部

横須賀海上保安部

横須賀警察署

# 訓練参加機関

## オブザーバー

NHK横浜放送局

## 視察機関

市国民保護協議会委員

陸上自衛隊東部方面混成団

県内市町危機管理担当者

報道機関

# 訓練の概要

## 1 訓練の目的

弾道ミサイル攻撃事態における国民保護訓練を実施し、国民保護計画の理解促進と関係機関の連携を強化して事態対処能力（放送事業者による情報伝達など）の向上を図り、武力攻撃による被害を最小にする。

## 2 訓練形態・・・図上訓練式

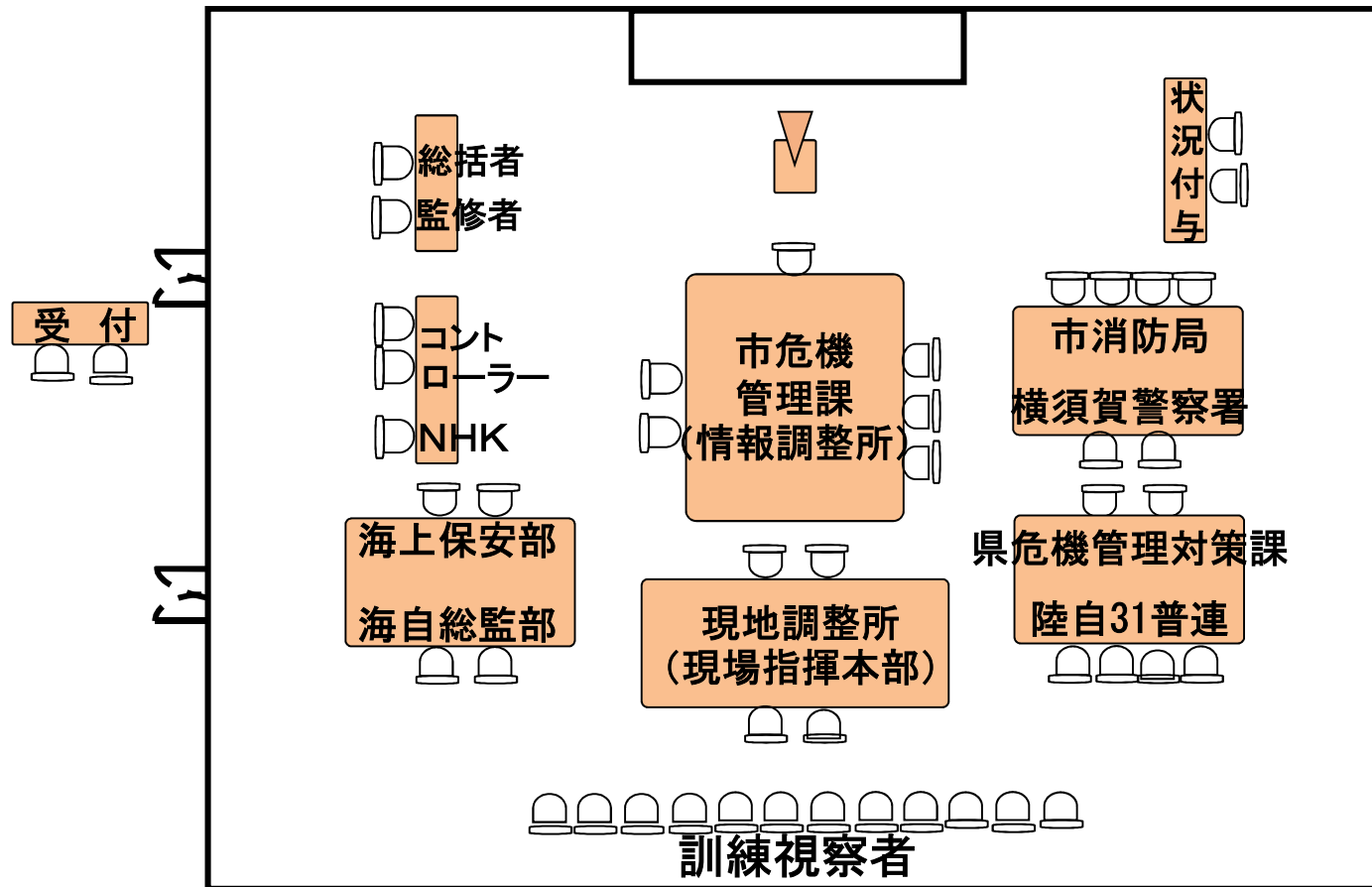
(1) 市危機管理課を中心に、想定に基づき調整を各訓練機関と実施する。

各訓練機関はそれぞれ図上検討・調整を実施し行動方針・対処要領を確立する。

(2) 2つの訓練想定に対し、図上検討・調整を実施した後、訓練を一時中断し、各訓練機関の対処方針・調整内容・対処要領について発表する。



# 訓練の概要



# 全般想定

- ・X-2ヶ月

国連安全保障理事会において、核実験およびICBM発射実験を繰り返しているN国に対し、厳しい制裁決議案を全会一致で採択

- ・X-1ヶ月

N国は、核搭載可能な大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験において、長射程における高い命中精度を得たと報道

- ・X-1w

N国は、DMZ(非武装地帯)付近での大規模演習を計画  
米海軍は、原子力空母および、日本・N国隣国を交えた大規模共同演習を日本海で計画

- ・X日

N国は米海軍等の大規模共同訓練の中止を強く主張するとともに、警告的に短距離ミサイルを発射

米国はN国の発射したミサイルにより、米艦が被弾したと主張し反撃を開始

N国がDMZ及び海上から隣国領に侵攻するとともに、隣国首都周辺にミサイルによる集中攻撃を開始

N国隣国への米軍の来援開始

N国からミサイルが発射され、三沢・岩国・佐世保及び横須賀でミサイル弾頭が爆発

# 第1想定

13:30 武山上空において火の玉とともに爆風が発生し、上空にきのこ雲が形成された。  
また、武山山頂付近で火災が発生している模様。

## 訓練開始までの状況(13:30～14:00)

- ・気象: 北の風2m/s、天気晴れ
- ・爆破5分前に「Jアラート」により警報が放送された。
- ・市民通報: 武山山頂半径900mで火災が発生している模様。
- ・爆発後、国は事案について事態認定し、自衛隊に防衛出動を命じるとともに、市に対し市国民保護対策本部を設置すべき市の指定の通知を行った。
- ・市民通報: 13:45爆心地南(津久井4-12)付近で灰のようなものが降り始めた。  
武山周辺半径1.5Kmで停電、電話(固定・携帯)が不通。
- ・市防災行政無線が機能不能となっている。
- ・鉄道機関は停止(運休)
- ・爆心地付近にけが人・建物の倒壊等が発生している様だが細部不明
- ・線量測定結果: 西消防署0.1mSv/h、北下浦モニタリングポスト(長沢局)0.3mSv/h、  
武山駐屯地0.5mSv/h

# 訓練実施状況

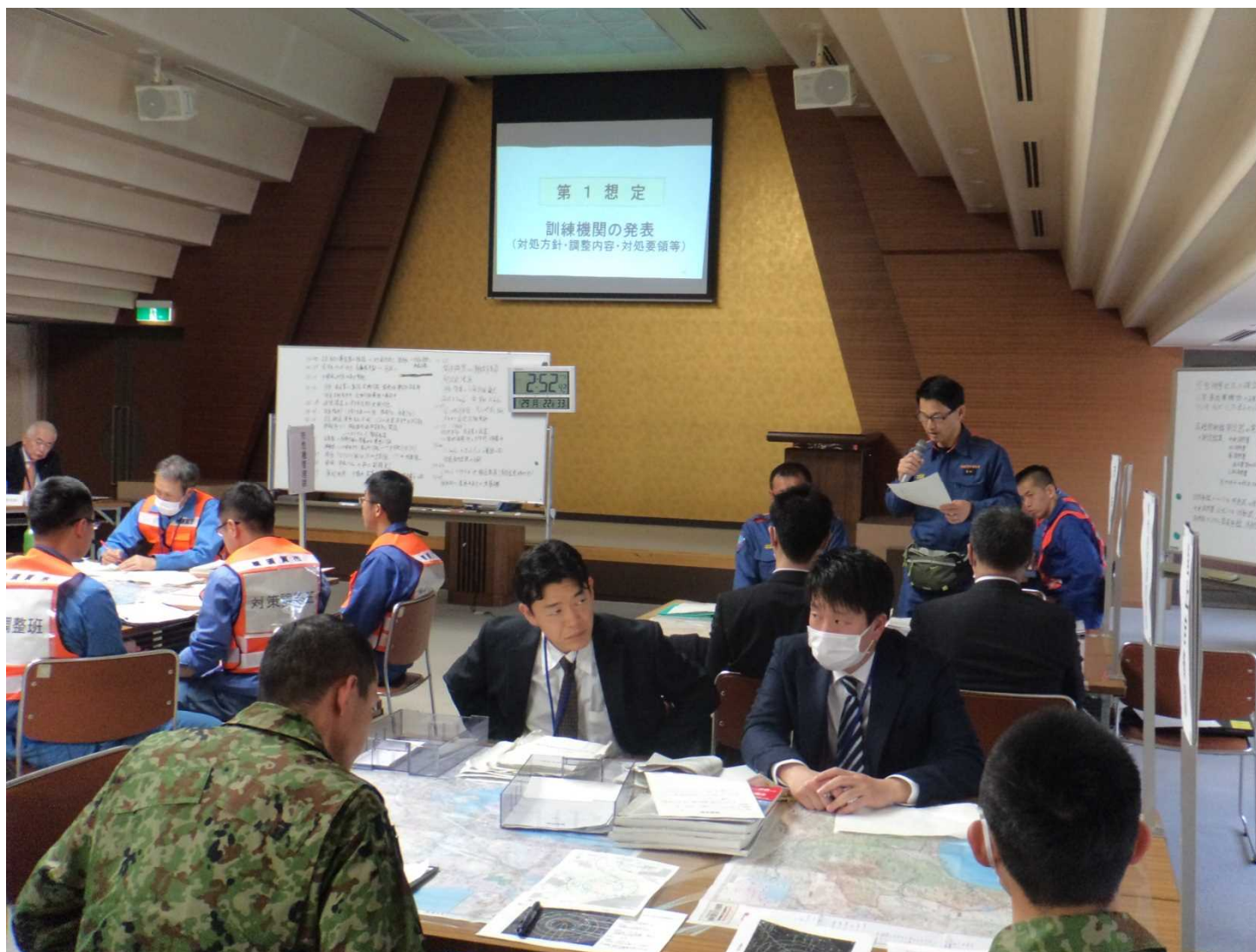


# 訓練実施状況





# 訓練実施状況



## 状況付与(その1)14:00~14:10

No	時刻	項目	付与先	方法	付与内容
3	1400	一般状況	消防局	口頭	・中央消防署、北消防署:線量はバックグラウンドレベル
4		師団からの指示	陸自第31普通科連隊	状況付与票	・東部方面隊・第1ヘリコプター団に防衛出動の命令が下達された。 ・師団として、第31普通科連隊、第1特殊武器防護隊、第1後方支援連隊衛生隊の各ファストホース(即動部隊)の出動を命ずるとともに第31普通科連隊に、 <b>出動部隊の誘導及びヘリ部隊の派遣についての陸自側調整窓口となることの指示。</b>
5		本部からの指示	海保	状況付与票	・第3管区海上保安本部から、 <b>爆心地から半径10Km圏内の海上封鎖の実施、住民避難の際の支援の実施、漁船等への海上封鎖の周知</b> について指示。
6		一般状況	消防局	状況付与票	・ <b>南消防署及び西分署出動準備完了</b> ・火災の状況:津久井5丁目住民から火災は <b>風下方向に延焼</b> している。
7		通報	市危機管理課	状況付与票	・武山市民プラザから衛星電話により付近の状況通報 <b>武3-12付近でけが人多数、倒壊家屋多数</b>
8		市民・所轄無線情報	横警	状況付与票	・県道26号、武付近から東進した車両からの情報 <b>武SSガソリンスタンド(武1-28)付近で車両事故、上下方向渋滞中</b> ・所轄無線による情報 <b>武交番(武3-5):爆風による倒壊家屋多数、県道26号渋滞中</b> <b>武山交番(長坂1-4):国道134号林交差点渋滞中</b> <b>家屋の被害は横須賀市民病院窓ガラス破損</b>

## 状況付与(その2)14:15～14:20

No	時刻	項目	付与先	方法	付与内容
9	1415	測定回答	消防局	口頭	・救助隊が測定しつつ前進時の線量の付与
10		師団からの指示	陸自 第31 普通科 連隊	状況付 与票	・第1特殊武器防護隊、第1後方支援連隊衛生隊の <b>ファストフォースの偵察員各2名がヘリにより来援するための、ヘリポート及び車両の準備の要請</b> ・市から陸自への要望事項の取りまとめ指示
11	1420	調整指示	陸自 第31 普通科 連隊	口頭	・第31普通科連隊のファストフォースの行動調整がされていない場合示唆し、調整を実施させる。 <b>(1430出動開始予定)</b>
12		調整指示	消防局	状況付 与票 口頭	・現場指揮本部位置が決定していない場合 西消防署の現場指揮本部:西分署長により <b>西分署</b> に決定 (現場指揮本部に配置してもらう) ・西除染所: <b>西分署</b> とし、 <b>市民病院</b> において収容を予定 ( <b>横須賀市民病院</b> との調整の実施)
13		三浦市からの依頼	海自 総監部	状況付 与票	・金田湾三浦海岸海水浴場沖の <b>放射線量の測定依頼</b>



## 状況付与(その3)14:30

No	時刻	項目	付与先	方法	付与内容
14	1430	測定回答	陸自連隊	口頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>第31普通科連隊ファストフォース出動</li> <li>前進中の線量計測値の付与(ウォームゾーン・ホットゾーンを付与)</li> </ul>
15		調整指示	警察	状況付与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通規制範囲の調整が無い場合 林交差点～佐原交差点以南への進入禁止とし、交通規制位置を見積もってもらう。汚染圏外に出る車両の除染についての調整</li> </ul>
16		調整指示 一般状況	消防局	状況付与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場指揮本部位置が決定していない場合 南消防署現場指揮本部:南署長により佐原2丁目公園に決定(現場指揮本部に配置してもらう)</li> <li>救急無線:武3-13付近要救助者8名、武1-29付近要救助者15名、救助要請</li> </ul>
17		調整指示	現場指揮本部	状況付与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地調整所・各ゾーンが設定されていない場合 現地調整所を設定する場合、不入斗運動公園への設置の推薦を市に連絡。 ホットゾーン:海洋科学高～衣笠小～大矢部小～県道27～野比小とする。 ウォームゾーン:大楠中～衣笠中～平作川～JR久里浜駅～神明小とする。</li> </ul>
18		一般状況	市危機管理課	状況付与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>三浦市からの要請 フォールアウト拡散に伴い大至急漁船の手配、R134により久里浜方面の避難所への避難の可否の問い合わせ。</li> </ul>

## 第2想定

N国からの第2弾以降のミサイルは、米国の反撃により阻止された模様。  
弾頭爆発に伴い、国は要避難地をそれぞれの爆発地点の放射線による被害が  
予想される地域とした。

これに伴い神奈川県は要避難地域を、横須賀市・葉山町・三浦市とし、避難先地域  
を県央部として避難の指示が出された。

### 県が行った避難の指示

避難は、放射線による被害が予想される地域(ウォームゾーン＝準危険区域)内  
の住民及び避難を希望する住民とし、細部は該当市の計画による。

市町名	人口	避難先地域	主移動手段	移動経路
葉山町	33,000人	茅ヶ崎市への避難	車両	R134、R1
横須賀市	404,000人	市内避難又は平塚市への避難	鉄道	JR線
三浦市	45,000人	市内避難又は藤沢市への避難	海上	海自、海保、漁船

#### ・避難時期

1月30日早朝から避難実施

#### ・その他事項は、各市町の避難先、輸送機関との調整による。

## 状況付与(その4) 15:10~15:15

No	時刻	項目	付与先	方法	付与内容
21	1510	一般状況	陸自 第31 普通科 連隊	状況付 与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1特殊武器防護隊、第1後方支援連隊衛生隊のファストフォースの偵察員各2名がヘリにより来援。</li> <li>・第1特殊武器防護隊からの市への要望 除染所位置の借用、水の補給・廃水処理</li> <li>・第1後方支援連隊衛生隊からの市への要望 患者収容場所の借用、患者の輸送手段(ヘリ輸送を含む)の確保</li> <li>・第1師団隷下の防衛出動部隊主力は30日午前0時頃到着予定。</li> </ul>
22		三浦市 との調整	海自 総監部	状況付 与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の避難に使用できる船舶の規模、乗船可能人員、運搬要領 乗船・下船位置等の調整</li> </ul>
23		一般状況	市危機 管理課	状況付 与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米海軍横須賀基地から、避難の際の海上輸送の支援可能の通報。</li> <li>・一般状況 京浜急行・JR線は、29日中の運休、運転開始は30日朝と決定。</li> </ul>
24	1515	一般状況	陸自 第31 普通科 連隊	状況付 与票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸自出動部隊から 須軽谷1080付近家屋倒壊・けが人3名 津久井5-20付近家屋倒壊・けが人3名</li> </ul>

## 状況付与(その4) 15:15～1520

No	時刻	項目	付与先	方法	付与内容
25	1515	一般状況	市危機管理課	状況付与票	・開設避難所(大楠小学校)からの情報 避難者が増加し収容限度を超えそうである。 また、けがをしている避難者も居る。
26	1520	市との調整	陸自第31普通科連隊	口頭	・住民避難の要領、役割についての調整が無い場合 避難にあたっての実施可能役割、出動可能人員・機材を見積もってもらい市と調整
27		市との調整	海保	口頭	・住民避難の要領、役割についての調整が無い場合 避難にあたっての実施可能役割、出動可能人員・機材を見積もってもらい市と調整
28		市との調整	海自総監部	口頭	・住民避難の要領、役割についての調整が無い場合 避難にあたっての実施可能役割、出動可能人員・機材を見積もってもらい市と調整

## 状況付与(その5) 15:20

No	時刻	項目	付与先	方法	付与内容
29	1520	市との調整	消防局	口頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸自がヘリを使用して消火した場合、その状況を付与</li> <li>・住民避難の要領、役割についての調整が無い場合 避難にあたっての実施可能役割、出動可能人員・機材を見積もってもらい市と調整</li> </ul>
30		市との調整	警察	口頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民避難の要領、役割についての調整が無い場合 避難にあたっての実施可能役割、出動可能人員・機材を見積もってもらい市と調整</li> </ul>

## 意見交換会

- ・何ができ、何ができなかったか  
(訓練参加機関)
- ・訓練視察者による意見交換
- ・訓練総括者・監修者による総括

# 意見交換会実施状況





# 意見交換会実施状況





# 意見交換会実施状況



## 意見交換会の内容

- 本想定において、各機関が実際にできること、できないことを知り、考える機会になった  
(できること、できないことの線引きができた)
- 関係機関との連携の重要性
  - ・有事の際は人員の減も重なり、更なる混乱が予想される
  - ・兵器・銃器・除染等の知識や装備について、連携し情報共有することが必要
- 定期的な訓練実施を継続
  - ・「顔の見える関係」の構築